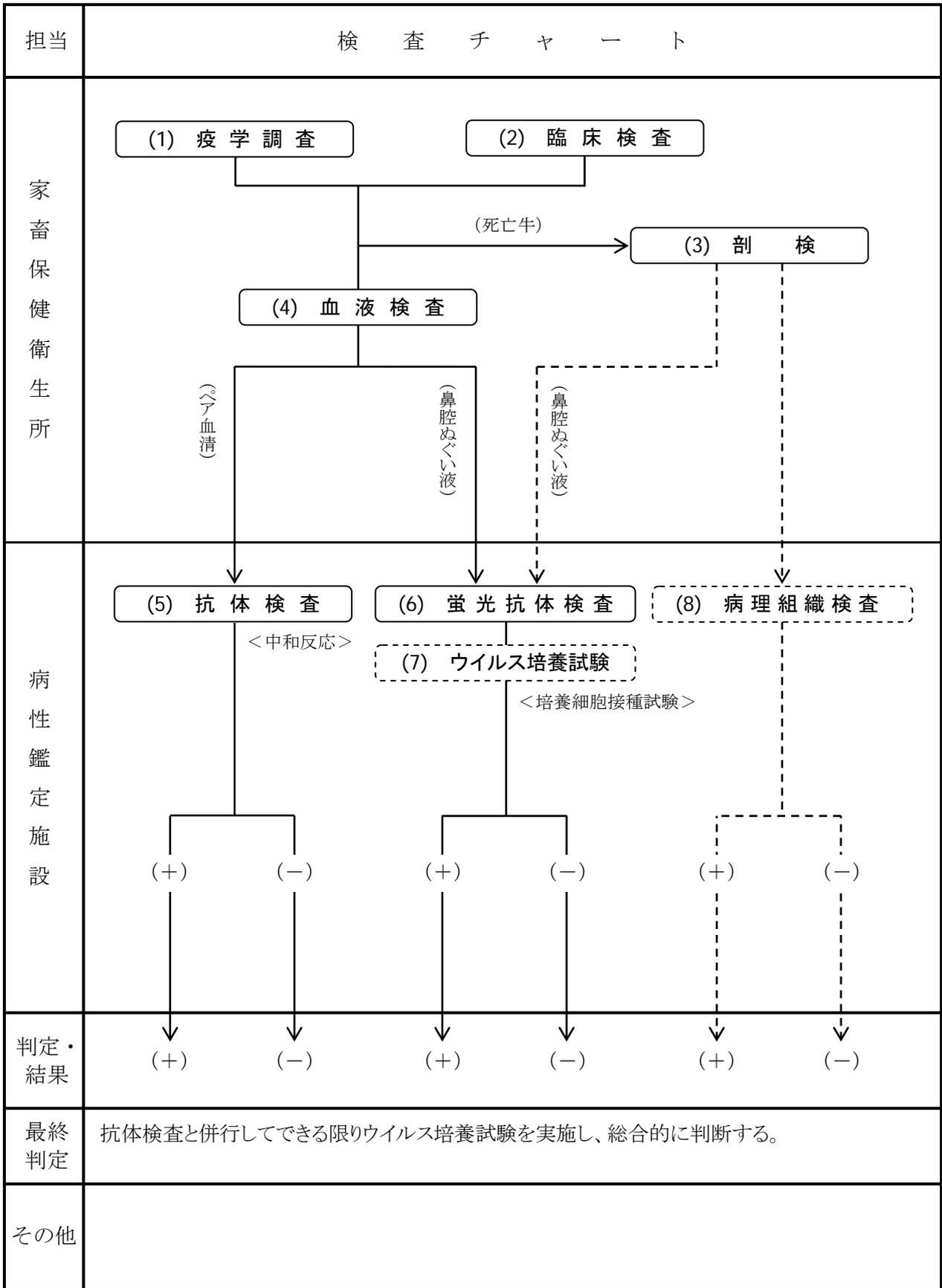


34 牛ライノウイルス病



→類似疾病検査

- ① 牛レオウイルス病    ② 33 牛パラインフルエンザ    ③ 15 牛伝染性鼻気管炎
- ④ 30 牛RSウイルス病    ⑤ 31 牛アデノウイルス病    ⑥ 14 牛ウイルス性下痢・粘膜病
- ⑦ 20 牛流行熱    ⑧ 18 イバラキ病    ⑨ 58 牛クラミジア症    ⑩ 43 牛パスツレラ症
- ⑪ 50 ヒストフィルス・ソムニ感染症

○ 病原体：牛鼻炎Aウイルス；Bovine rhinitis A virus [*Bovine rhinitis A virus*, *Aphthovirus*, *Picornaviridae*]、牛鼻炎Bウイルス；Bovine rhinitis B virus [*Bovine rhinitis B virus*, *Aphthovirus*, *Picornaviridae*]

(1) 疫学調査

- ① 集合、輸送等の後に好発する。
- ② 若齢牛に好発する。
- ③ 混合感染例が多い。
- ④ 単独感染による死亡は希

(6) 蛍光抗体検査

鼻腔ぬぐい液の直接塗抹標本を蛍光抗体染色して鏡検する。  
特異蛍光を呈した細胞がみられたものを陽性とする。

(2) 臨床検査

- ① 軽度の発熱
- ② 一般症状の悪化
- ③ 水様性鼻汁の漏出
- ④ 発咳
- ⑤ 呼吸促迫、呼吸困難

(7) ウイルス培養試験(培養細胞接種試験)

使用細胞：牛腎細胞またはMDBK細胞  
接種材料：鼻腔ぬぐい液  
培養方法：33℃で回転培養  
成績：CPEの確認  
同定：蛍光抗体染色し、培養細胞中の特異蛍光細胞の確認。交差中和試験

(3) 剖 検

- ① 鼻甲介、気管の充血
- ② 肺に小葉性無気あるいは肝変化巣が散在

(8) 病理組織検査

- ① 鼻炎、気管炎
- ② ときに軽度の気管支間質性肺炎

(4) 血液検査

一過性の白血球数の減少

(5) 抗体検査(中和反応)

ペア血清について実施